



エコアクション21 環境経営レポート

2024年度版

＜対象期間： 2024年4月～2025年3月＞



2025年7月1日発行

沖縄マツダ販売株式会社

目 次

1.組織の概要	1
2.対象範囲	2
3.環境経営方針	3
4.環境経営目標	4
5.環境経営計画	5
6.実施体制	6
7.環境経営目標の実績	7
8.環境経営計画の取組結果と評価	8
9.環境関連法規への違反、訴訟等の有無	10
10.内部監査結果	11
11.代表者による全体評価と見直しの結果	11

1. 組織の概要

1) 事業社名及び代表者氏名

沖縄マツダ販売株式会社
代表取締役社長 宮里 豊

2) 所在地

沖縄県浦添市勢理客4丁目1番5号

3) 設立

1950年6月

4) 資本金

2,000万円

5) 事業内容

乗用車・軽自動車・福祉車両・商用車の新車販売
中古車販売
自動車部品・用品等の販売
自動車整備業（車検・点検・一般・板金塗装）
損害保険代理業 等

6) 事業の規模

店舗数：	3店舗	
従業員数	99人	(2024年度)
年間売上高	35億円	(2024年度)
年間新車売上台数	630台	
年間整備在庫台数(有償・無償)	21,766台	

7) 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者	執行役員 管理本部長 赤嶺 亨
---------	--------------------

EA21推進事務局	支援部営業支援Gr 永田 剛
-----------	-------------------

担当連絡先	TEL : 098-877-3183 FAX : 098-877-4807
-------	------------------------------------------

2. 対象範囲

・当社では環境経営を推進するため、全組織・全活動を対象に2011年6月にエコアクション21の認証を取得し、現在まで14年間、環境経営システムを運用・維持しています。

1) 対象事業所

#	店舗名	所在地	電話番号
1	本社	沖縄県浦添市勢理客四丁目1番5号	098-877-3183
2	浦添店	沖縄県浦添市勢理客四丁目1番5号	098-877-6210
3	知花店	沖縄県沖縄市知花6丁目39番3号	098-937-2828
4	北谷店	北谷町美浜二丁目1番5号	098-989-6922



本社・浦添店



EA21認証・登録証



北谷店



知花店

2) 対象事業活動

乗用車・商用車の新車販売、中古自動車販売、自動車部品・用品等の販売、自動車整備業、損害 保険代理業

3. 環境経営方針

＜基本理念＞

沖縄マツダ販売株式会社 は、自動車販売・自動車整備などの全ての事業活動において、自然との調和を図りながら、地球環境の保護と豊かな社会づくりに貢献します。

＜行動指針＞

1. 環境に関する法規制を遵守します。
2. 限りある資源を大切にするため、省資源・省エネルギーに努めます。
3. 使用済み自動車の適正処理、リサイクルを推進します。
4. 循環型社会に向けて、廃棄物の削減・再使用・再利用活動を推進します。
5. 環境改善目標を定め、継続的な環境改善活動を実践します。
6. エコ商品・省エネ商品の購入に努めます。
7. 低燃費・低排出ガス車（スカイアクティブ）の車両販売及び車両点検に努めます。
8. 化学物質を適正に管理します。
9. 事業所周辺の環境美化に努めます。
10. 全従業員にこの環境経営方針を周知徹底するとともに、環境経営レポートを作成し、公表します。

制定 2010年 6月 1日

改訂 2011年 4月 1日

沖縄マツダ販売株式会社

代表取締役社長

宮里 豊

4. 環境経営目標

- ・環境経営目標は、環境経営方針で定めた取組の行動指針に基づき、中長期目標として以下の6分野で数値目標を設定しました。
- ・環境負荷削減項目（1～4）は、基準年度実績値（2017年度～2019年度平均値）に対して毎年1%ずつ削減し、2024年度は5%削減を目指しました。また、増加目標項目（5,6）はグリーン購入が300%、エコカー販売（SKYACTIVE搭載車両）と車両点検実施は104%増加を目標としました。

作成日：2020年4月

更新日：2025年6月

環境経営目標項目			基準年度 (2017年～2019年度平均実績値)	区分	中長期目標					
					2022 年度		2023 年度		2024 年度	
1	二酸化炭素排出量の削減	(1)電力使用量の削減	電力 337,461 kWh (排出係数0.708kg-CO ₂ /kWh)	基準年度比	97%		96%		95%	
			238,922 kg-CO ₂	目標値	231,755	kg-CO ₂	229,365	kg-CO ₂	226,976	kg-CO ₂
		(2)自動車燃料使用量の削減 (ガソリン・軽油)	ガソリン 18,575 ℓ 軽油 9,361 ℓ	基準年度比	97%		96%		95%	
			67,245 kg-CO ₂	目標値	65,228	kg-CO ₂	64,556	kg-CO ₂	63,883	kg-CO ₂
		(3)その他燃料使用量の削減(LPG)	LPガス 1,372 kg	基準年度比	97%		96%		95%	
			4,116 kg-CO ₂	目標値	3,993	kg-CO ₂	3,951	kg-CO ₂	3,910	kg-CO ₂
		(4)CO ₂ 総排出量		基準年度比	97%		96%		95%	
			310,284 kg-CO ₂	目標値	300,975	kg-CO ₂	297,872	kg-CO ₂	294,770	kg-CO ₂
2	廃棄物排出量の削減	(1)一般廃棄物排出量の削減		基準年度比	97%		96%		95%	
			3,577 t	目標値	3,470	t	3,434	t	3,398	t
		(2)産業廃棄物排出量の削減		基準年度比	97%		96%		95%	
			40,812 t	目標値	39,588	t	39,180	t	38,771	t
3	水使用量の削減		基準年度比	97%		96%		95%		
		2,353 m ³	目標値	2,282	m ³	2,259	m ³	2,235	m ³	
4	化学物質使用量の削減		基準年度比	97%		96%		95%		
		使用量 419 kg	目標値	406	kg	402	kg	398	kg	
5	グリーン購入の推進		基準年度比	200%		250%		300%		
		購入品目数 2 個	目標値	3	個	4	個	4	個	
6	環境に配慮した車両の販売及びサービスの提供	(1)エコカー販売の促進		基準年度比	102%		103%		104%	
			販売台数 529 台	目標値	540	台	545	台	550	台
		(2)車両点検実施の増加		基準年度比	102%		103%		104%	
			入庫台数 5,419 台	目標値	5,527	台	5,582	台	5,636	台

備考) ・購入電力(沖縄電力)の二酸化炭素排出係数は0.708kg-CO₂/kWhを用いた。

・エコカー販売台数には商用車・軽自動車は含まれていません。(SKYACTIVE搭載車両)

5. 環境経営計画

- ・環境経営目標を達成するため、以下の具体的な取組（活動項目）を設定して、全社員で取り組みました。
- ・また、独自の取組として、インターシップ受入等の社会貢献活動を実施しました。

1 二酸化炭素排出量の削減

1) 電力使用量の削減

① 不要な照明の消灯・節電の徹底

- ☐ エアコンフィルターの定期清掃
- ☐ 毎月使用量の把握

② 待機電源OFF

- ☐ PCモニター・プリンター・シュレッダー等OA機器の主電源OFF
- ☐ 長期休暇時や連休中はコンセントを抜く

③ 空調機器の設定温度を管理する。

- ☐ ショールームではお客様に不快感（適度な温度設定）を与えないような適温管理を行う

2) 化石燃料使用量の削減

- ☐ エコドライブ徹底の確認
- ☐ 燃費向上対策として定期点検を実施

2 廃棄物排出量の削減

- ☐ 両面コピー・縮小コピー・裏紙使用の徹底
- ☐ 社内で使用する資料等は カラープリント カラーコピーは原則禁止
- ☐ ゴミ分別を徹底し、リサイクル促進
- ☐ 産業廃棄物排出量の把握
- ☐ 会議資料のペーパーレス化（紙資料提供の抑制）

3 水使用量の削減

- ☐ 水道使用量を把握・記録し 漏水をチェックする
- ☐ 節水効果型門型洗車機の導入

4 グリーン購入の推進

- ☐ 環境負荷低減に考慮した商品を優先購入する

5 化学物質使用量の削減

- ☐ 塗料の調色時に正確に設定する。
- ☐ P R T R 法対象物質を適切に管理し、できる限り使用量を控える

6 環境に配慮した車両の販売及びサービスの提供

- ☐ お客様の整備入庫を提案し、燃費が悪化する各種要因を提案し燃費向上を図る為（タイヤ・フィルター・オイル等） メンテナンスパックを継続的に販売促進

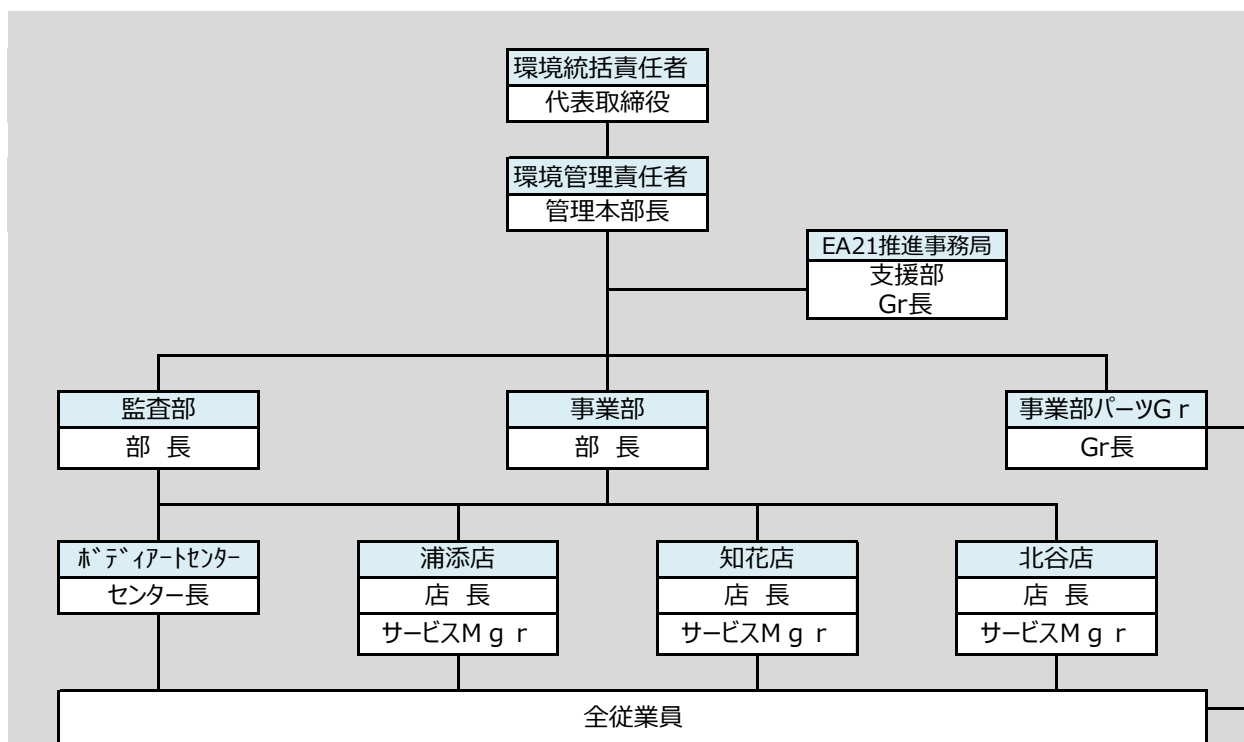
7 その他の取り組み

1) 社会貢献活動

- ☐ インターンシップ・職場体験の受け入れ
- ☐ 献血活動

6. 実施体制

- ・実施に当たっては、社内にエコアクション21を推進する次のような実施体制を構築して、それぞれの役割を定めて全社員が一丸となって取り組みました。



所属名	役割と権限
環境統括責任者 ＜代表者・社長＞	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境マネジメントシステム（以下EMS）に関する統括責任者 ・ 経営における課題とチャンスを明確化する ・ EMSの実施及び運用に必要な人・設備・費用・時間を用意 ・ 環境管理責任者の任命 ・ 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・ 環境経営目標の設定を承認 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施 ・ 環境経営レポートの承認
環境管理責任者 ＜管理本部長＞	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実務上の責任者として、環境取り組みを推進 ・ ※代表者は、環境活動の実務に関して全部門に対する指揮命令権限を委譲 ・ EMSの構築、実施、管理 ・ 環境経営計画書、環境関連法令取りまとめリスト等の承認 ・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・ 環境経営レポートの確認
EA21推進事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として環境取り組みを推進 ・ 店舗の環境取り組みの指導・支援 ・ 環境データの集計・取りまとめ ・ 定期的に取組状況を確認・評価し、問題が発生した場合は必要な是正策を検討・実施する
各部門 《部門長》	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全社の環境取り組みを推進 ・ 担当部門の環境取り組みの責任者
店舗環境管理責任者 ＜正：店長、副：サービスMgr＞	<ul style="list-style-type: none"> ・ 店長： 店舗の環境取り組み全体の責任者として店舗環境取組の推進・管理 ・ サービスMgr： サービス領域の環境取り組みに責任を持つとともに店舗全体の環境取り組みにおいて店長をサポートする
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性の理解 ・ 自主的 積極的な環境活動への参加

7. 環境経営目標の実績

- ・2024年度の環境経営目標達成状況は以下のとおりであり、設定した6項目12目標のうち電力以外のエネルギー3目標、化学物質、グリーン購入、車両点検在庫数の4項目6目標で達成できましたが、残りは目標値を上回り達成できませんでした。
- ・最大の環境負荷である二酸化炭素排出量は目標達成率90%で目標を僅かに上回りました。この排出源をみると、電力以外は目標を達成していますので、今後は節電対策の強化やエネルギー消費効率の高い電化設備への計画的更新を行っていきます。
- ・本業目標としたエコカー販売台数は知花店で目標を達成していますが、会社全体では目標達成率79%に止まっています。次年度は目標達成に向けて販売力を強化していきます。

		①二酸化炭素排出量	①エネルギー使用量				②廃棄物排出量		③水使用量	④化学物質使用量	⑤グリーン購入	⑥環境に配慮した車両の販売及びサービスの提供	
			購入電力	ガソリン	軽油	LPガス	一般廃棄物	産業廃棄物				エコカー販売	点検在庫
店舗	単位	kg-CO ₂	kWh	ℓ	ℓ	kg	kg	kg	m ³	kg	個	台	台
本社・浦添店	基準年度	210,236	224,986	12,916	6,553	1,358	1,788	26,509	1,552	419	2	334	3,257
	前年度	210,104	235,828	12,235	4,325	1,198	3,854	30,387	1,748	435	4	254	4,152
	目標値	199,724	213,737	12,270	6,225	1,290	1,699	25,184	1,474	398	4	347	3,387
	今年度	212,434	254,316	8,576	3,558	1,100	4,275	51,161	1,974	260	5	260	3,994
	前年度比	101%	108%	70%	82%	92%	111%	168%	113%	60%	125%	102%	96%
	目標達成率	94%	84%	143%	175%	117%	40%	49%	75%	153%	125%	75%	118%
	※ 評価	△	△	◎	◎	○	×	×	×	◎	◎	×	○
知花店	基準年度	47,661	54,982	2,450	1,175	6.00	901	8,794	415	0	2	63	1,185
	前年度	56,584	64,795	3,229	1,245	1.9	2,158	14,662	457	0	4	65	970
	目標値	45,278	52,233	2,328	1,116	5.7	856	8,354	394	0	4	66	1,232
	今年度	55,450	65,930	2,578	1,067	13.2	1,640	14,322	503	0	5	88	1,042
	前年度比	98%	102%	80%	86%	695%	76%	98%	110%	—	125%	135%	107%
	目標達成率	82%	79%	90%	105%	43%	52%	58%	78%	—	125%	134%	85%
	※ 評価	△	×	△	○	×	×	×	×	—	◎	◎	△
北谷店	基準年度	52,387	57,493	3,209	1,633	8.0	888	5,509	386	0	2	132	977
	前年度	67,432	74,105	4,380	1,860	1.8	1,283	17,802	552	0	4	96	1,238
	目標値	49,768	54,618	3,049	1,551	7.6	844	5,234	367	0	4	137	1,016
	今年度	60,638	68,774	3,678	1,323	0.0	1,493	16,669	537	0	5	85	1,266
	前年度比	90%	93%	84%	71%	0%	116%	94%	97%	—	125%	89%	102%
	目標達成率	82%	79%	83%	117%	—	56%	31%	68%	—	125%	62%	125%
	※ 評価	△	×	△	○	—	×	×	×	—	◎	×	◎
店舗	項目	①二酸化炭素排出量	①エネルギー使用量				②廃棄物排出量		③水使用量	④化学物質使用量	⑤グリーン購入	⑥環境に配慮した車両の販売及びサービスの提供	
			購入電力	ガソリン	軽油	LPガス	一般廃棄物	産業廃棄物				エコカー販売	点検在庫
店舗	単位	kg-CO ₂	kWh	ℓ	ℓ	kg	kg	kg	m ³	kg	個	台	台
合計(全社)	基準年度	310,284	337,461	18,575	9,361	1,372	3,577	40,812	2,353	419	2	529	5,419
	前年度	334,120	374,728	19,844	7,430	1,202	7,295	62,851	2,757	435	4	415	6,360
	目標値	294,770	320,588	17,646	8,893	1,303	3,398	38,771	2,235	398	4	550	5,636
	今年度	328,522	389,020	14,832	5,948	1,114	7,407	82,152	3,014	260	5	433	6,302
	前年度比	98%	104%	75%	80%	93%	102%	131%	109%	60%	125%	104%	99%
	目標達成率	90%	82%	119%	150%	117%	46%	47%	74%	153%	125%	79%	112%
	※ 評価	△	△	○	◎	○	×	×	×	◎	◎	×	○

備考) ・基準年度：2017年4-2019年3月(実績平均値)、前年度：2023年4-2024年3月、今年度：2024年4-2025年3月

・購入電力(沖縄電力)の二酸化炭素排出係数は0.708kg-CO₂/kWhを用いた。

・エコカー販売台数には商用車・軽自動車は含まれていません。(SKYACTIVE搭載車両)

※目標達成状況評価区分 ◎：目標達成率≥120%、○：100%≤達成率<120%、△：80%≤達成率<100%、×：達成率<80%、—：判定不可

8. 環境経営計画の取組結果と評価

1) 二酸化炭素排出量の削減

① 電力使用量の削減

<取組結果>

- コロナ禍において常に職場換気を実施。エアコン使用期間の電力使用量を削減できず。
(温度設定も夏場は熱中症対策の為 省エネ設定も厳しかった。)

<今後の取組>

引き続き電気使用については削減を事務局より全社へ呼びかける予定

② 燃料使用量の削減 (ガソリン、軽油、LPガス)

<取組結果>

- 自動車燃料使用量 目標達成率 ガソリン119% 軽油150% LPガス117%
- エコカー販売 目標達成率79% 全体の販売台数は減少した
- LPガス使用量 目標達成率117% シャワー利用者の減が影響と考えられる。

<今後の取組>

次年度は生産台数が戻り 化石燃料は増加となる予測 計画値を見直す予定

2) 廃棄物排出量の削減

<取組結果>

- 一般廃棄物：目標達成率46%
- 産業廃棄物：目標達成率47%

各店舗共に目標達成率が50%前後と極めて低い 計画の見直し

<今後の取組>

次年度 目標値は20年から23年平均値をベースに25年度から3年間計画を策定する。

3) 水使用量の削減

<取組結果>

- 目標達成率74% 各店舗共に目標未達
整備入庫車両が増加したが節水効果により水使用量は微増に止まった

<今後の取組>

引き続き節水について事務局より社内に向けて啓発する実施

4) グリーン購入の推進

<取組結果>

- 前年同様 社内で使用するコピー用紙の再生紙やエコトイレトペーパーを購入。
- コロナ禍で 各会議をWebで実施 会議資料も紙配布が削減

<今後の取組>

次年度は社内承認事案の電子化を促進 紙使用量削減に向け継続して取り組む

5) 化学物質の削減

<取組結果>

- 目標達成率153%
- 外注作業を社内作業 (内製化) へ変更した為 塗料使用量の増加が要因

<今後の取組>

継続して水性塗料導入に向け検討予定 引き続き削減に向け努力予定

6) 環境に配慮した車両の販売及びサービスの提供

＜取組結果＞

- 点検入庫台数の目標達成率は112% 知花店以外は目標達成
浦添店のサービス工場が処理台数を超過逼迫した事が要因

＜今後の取組＞

次年度は 他店舗への入庫及び適正な人員配置を検討

7) その他の取り組み

1) 社会貢献活動

- インターンシップ・職場体験の受け入れを各店舗で実施
整備学校の技能講習会受入
営業職インターンシップを北谷店 浦添店で受入

- 社内検診時に献血を予定していたが 調整できず未実施

＜今後の取組＞

次年度は早期連絡を入れて日時確定予定

9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

・当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規は次のとおりです。

1. 環境関連法規への違反

・環境関連法規については、2024年4月～2025年3月の期間で内部統制自己診断を実施（2025年3月1日）

し、法令遵守状況を確認しています。その結果、法令違反はありませんでした。

遵守判定区分 ○：遵守 ×：不遵守 -：該当なし

環境関連法規	要求事項	評価		
		本社・浦添店	知花店	北谷店
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物の適正処理 収集運搬業者との契約内容 処分業者との契約内容 マニフェスト管理の遵守 保管基準の遵守 	○	○	○
自動車リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> 使用済自動車の適正処理 	○	○	○
水質汚濁防止法	<ul style="list-style-type: none"> 事故時の措置 	○	○	○
下水道法	<ul style="list-style-type: none"> 油水分離槽の清掃及び点検 自動車洗車施設（特定施設届出） 	○ ○	○ ○	○ ○
騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> 特定施設の届出 （工場コンプレッサー定格出力7.5kw以上） 	-	-	-
消防法	<ul style="list-style-type: none"> 少量危険物の貯蔵及び取扱の届出 防火管理者 消防用設備の定期点検の届出 	○	○	○
大気汚染防止法	<ul style="list-style-type: none"> 塗装・乾燥施設の都道府県知事への届出。 	○	-	-
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> 3ヶ月に1回、簡易点検の実施（全数） 廃棄時の書面交付 	○	○	○
化管法	<ul style="list-style-type: none"> 第一種指定化学物質の排出量及び移動量を把握。 総取扱量が1t以上は自治体へ届出。 	○	-	-
労働安全衛生法	<ul style="list-style-type: none"> 特定化学物質リスクアセスメント実施 	○	-	-

2. 違反・訴訟の有無

・当社は、環境当局からの違反の指摘や利害関係者からの訴訟等も過去3年間ありませんでした。

10. 内部監査結果

- ・2024年度運用期間の途中段階で、環境経営システムの構築状況及び取組状況を確認するため内部監査を実施しました。
- ・その結果、知花店において環境に関する苦情や要望を受け付ける窓口が未設置となっていたため、是正改善を行いました。
- ・それ以外は、エコアクション21要求事項や社内規定を満たしていることを確認しました。

11. 代表者による全体評価と見直しの結果

- ・2024年度エコアクション21の運用成績を踏まえて、今年度の取組状況の全体評価と次年度計画の見直しを行いました。
- ・取組状況は環境意識の向上により社内で浸透しており、本業を通じた取組（エコカー拡販、車両点検整備）により地球環境保全への貢献ができています。次年度は計画の主要な部分は継続していくと見込みです。

活動期間		2024/4/1～2025/3/31	
見直し 関連情報	項目	確認	評価・コメント
	1 エコアクション21文書	<div><div></div>実施</div> <div><div></div>未実施</div>	実施記録は毎月記録されている。
	2 環境経営目標及び目標達成状況	<div><div></div>実施</div> <div><div></div>未実施</div>	エネルギー使用量は減ったが車両販売台数減が主要因
	3 環境経営計画及び取組実施状況	<div><div></div>実施</div> <div><div></div>未実施</div>	環境活動計画書通り実施した。
	4 環境関連法令一覧表及び遵守状況	<div><div></div>実施</div> <div><div></div>未実施</div>	環境関連法規は要求事項通り実施された。
	5 外部コミュニケーション・対応記録	<div><div></div>実施</div> <div><div></div>未実施</div>	特に近隣からの申し入れはなかった。
	6 問題点の是正・予防措置の実施状況	<div><div></div>実施</div> <div><div></div>未実施</div>	環境事故対応訓練を実施
	7 取引先・業界・関係行政機関 その他の外部動向	<div><div></div>実施</div> <div><div></div>未実施</div>	特になし。
	8 その他（内部監査等）	<div><div></div>実施</div> <div><div></div>未実施</div>	内部監査を実施 B判定項目（知花店の苦情受付窓口未設置）の是正実施
評価者		代表取締役 宮里 豊	実施日 2025年4月1日
全体評価・コメント（環境経営システムへの有効性・環境への取組の適切性等）			
・当社は、地域社会に大きな影響及ぼす自動車販売・整備を事業として営んでいます。			
・効率の良い最新エンジン車両を拡販し普及促進することは、LCA観点でも有効と考えます（BEVも販売開始）。また、PDM（製品開発管理）実			
施率を上げ、適切な時期に適切な点検を実施することで、燃費性能維持に貢献できると考えます。			
・推進事務局のリードの下、各職長の意識も高く取組が浸透しています。引き続きこれらの活動に多くの社員が関わっていくことによって、会社全			
代 表 者 に よ る 全 体 評 価 ・ 見 直 し	見直し項目	変更の必要性	変更「有」の場合の指示事項
	1 環境経営方針	<div><div></div>有</div> <div><div></div>無</div>	
	2 環境経営目標	<div><div></div>有</div> <div><div></div>無</div>	車両販売増とエネルギー使用量の関係を今後も静観
	3 環境経営計画・取組項目	<div><div></div>有</div> <div><div></div>無</div>	
	4 環境に関する組織（実施体制）	<div><div></div>有</div> <div><div></div>無</div>	
	5 その他のシステム要素	<div><div></div>有</div> <div><div></div>無</div>	
	6 その他（外部への対応）	<div><div></div>有</div> <div><div></div>無</div>	